



ケーブルコンベンション関連イベント

ケーブル技術ショー Cable Tech Show 2020

ケーブル技術イノベーションが拓く、新たな社会

Innovation of Cable Technology leads to A New Society

～地域を創る、ひとりひとりの豊かな社会を目指して～



多彩なコンテンツ



4K8K

4K8K



防災・減災



高速通信時代



Smart Home



無電柱化の街



デジタル革新



実施報告書

INDEX

ごあいさつ	3
全体概要	4
来場者数	5, 6
出展者一覧	7
オンライン展示会キャプチャ	8, 9
オンライン テックセミナー	10, 11
主催者テーマ展示	12-14
来場者アンケート集計結果	15-30

ごあいさつ

「ケーブル技術ショー2020オンライン展示会」を終えて

日頃から、一般社団法人日本CATV技術協会の活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、去る7月1日（水）から8月31日（月）の2か月間、インターネット上でwebにより開催した、ケーブルコンベンション関連イベント「ケーブル技術ショー2020オンライン展示会」に多数のご来場を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで、延べ来場者数は32,023名（重複無し：10,872名）と、会場を利用した例年と同等の1万人を超える来場者数となりました。加えて、技術セミナーには延べ4,012名と昨年の約2.7倍のご参加をいただき盛況のうちに幕を閉じました。

オンライン上で設けた3つの展示ゾーン『プラットフォーム・総合』『ヘッドエンド系・受信端末・伝送系』『ソフト・制作系・CPS/IoT・部品等』では、51社（48ブース）が出展し、Society5.0の実現に向けたCPS/IoT、5G、AI技術ならびに、4K・8K放送関連のRF・IP方式伝送ソリューション、10G-EPONなどFTTH関連ソリューション、地域の防災情報提供システムに加え、制作運営面ではAI、AR/VR技術を活用したソリューションを動画や画像で紹介し、ご来場者様からは「最新の技術情報、業界動向が効率よく収集できた」、「遠隔地でもあり例年来場できなかったが、職場、自宅から来場できた」、「自由な時間に、自由な場所で自分のペースで何度でも、じっくり閲覧できた」など良い評価をいただいた一方で、「製品やシステムの実機、実動が確認できない、説明員とのリアルタイムでの質疑応答ができないのが不満」、「動画と画像資料だけでは情報が入手しづらい、担当者と対面した説明が必要」など、実会場を利用する展示会を希望するご意見もいただきました。

主催者技術テーマ展示ゾーンでは、『ケーブル技術が創る未来タウン』と題して、新4K8K衛星放送技術、ハイブリットキャストコネクットの技術紹介と活用事例、サービス・端末・配信・インフラに関する5つの次世代ケーブル技術、IoT放送&LPWAの連携によるパーソナル避難誘導システム、スマートホンからテレビでの配信動画視聴への誘導について、動画や画像で紹介し「ケーブルサービスの現状の理解とともに今後を俯瞰できた」などの評価をいただきました。

また、今年のオンライン展示会全体ならびに、主催者技術テーマ展示の印象として「非常に良かった」・「良かった」との評価を6割の方々からいただきました。来場者のうち初めて来場いただいた方が約7割とオンライン展示会による効果があった一方で、過去来場者が約3割と会場を利用した対面での展示会を望むご意見が大きいとあらためて認識しました。コロナ禍によるニューノーマル時代に対応した今後のケーブル技術ショーは、会場利用とオンライン展示会の併設によるハイブリッド展示会が望まれると感じました。

当協会は、会員社、関係団体・機関と連携して、重要インフラの一つでありますCATVの更なる普及・発展、信頼性の確保、地域の安心と安全を守るCATV技術者集団として“ケーブル技術イノベーションが拓く、新たな社会の実現”を進めてまいります。

今後とも皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年10月
一般社団法人 日本CATV技術協会
理事長 内田 茂之

全体概要

開催概要

開催テーマ

ケーブル技術イノベーションが拓く、新たな社会

Innovation of Cable Technology leads to A New Society

～地域を創る、ひとりひとりの豊かな社会を目指して～

全体概要

名称：ケーブルコンベンション2020 関連イベント「ケーブル技術ショー2020 オンライン展示会」
会期：2020年7月1日（水）～8月31日（月）
会場：ケーブル技術ショー2020 公式ウェブサイト
主催：（一社）日本CATV技術協会／（一社）日本ケーブルテレビ連盟／（一社）衛星放送協会
後援：総務省
特別協賛：（一社）日本ケーブルラボ／ケーブルテレビ無線利活用促進協議会／
（一社）日本コミュニティ放送協会（順不同）
協賛：情報通信月間推進協議会
特別協力：NHK／（一社）日本民間放送連盟／（一社）放送サービス高度化推進協会（順不同）
協力：日本テレビ放送網（株）／（株）TBSテレビ／（株）フジテレビジョン／（株）テレビ朝日／
（株）テレビ東京／毎日新聞社／読売新聞社／日本経済新聞社／産業経済新聞社／東京新聞／
共同通信社／時事通信社／（一社）日本経済団体連合会／（一社）電子情報技術産業協会／
（一社）電波産業会／（一社）電気通信事業者協会／（一社）テレコムサービス協会／
（一社）日本インターネットプロバイダー協会／
（一社）コンピュータエンターテインメント協会／（一財）全国地域情報化推進協会／
（一財）電波技術協会（順不同）
入場料：無料（登録制）
出展規模：51社／主催者テーマ展示5団体
展示ブース数：53ブース
オンライン テックセミナー：4社・団体／6セミナー

関連行事

テーマ：Shift ～挑戦と連携で、新たな時代を創り出そう～
名称：ケーブルコンベンション2020
会期：2020年7月1日（水）～8月31日（月）
会場：オンライン（特設サイト）
主催：一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟／
一般社団法人日本CATV技術協会／一般社団法人衛星放送協会



来場者数

来場者数・視聴者数

オンライン展示会	来場者数（延べ）：32,023名 来場者数（重複なし）：10,872名
オンライン テックセミナー	視聴者数（重複あり）：4,012名

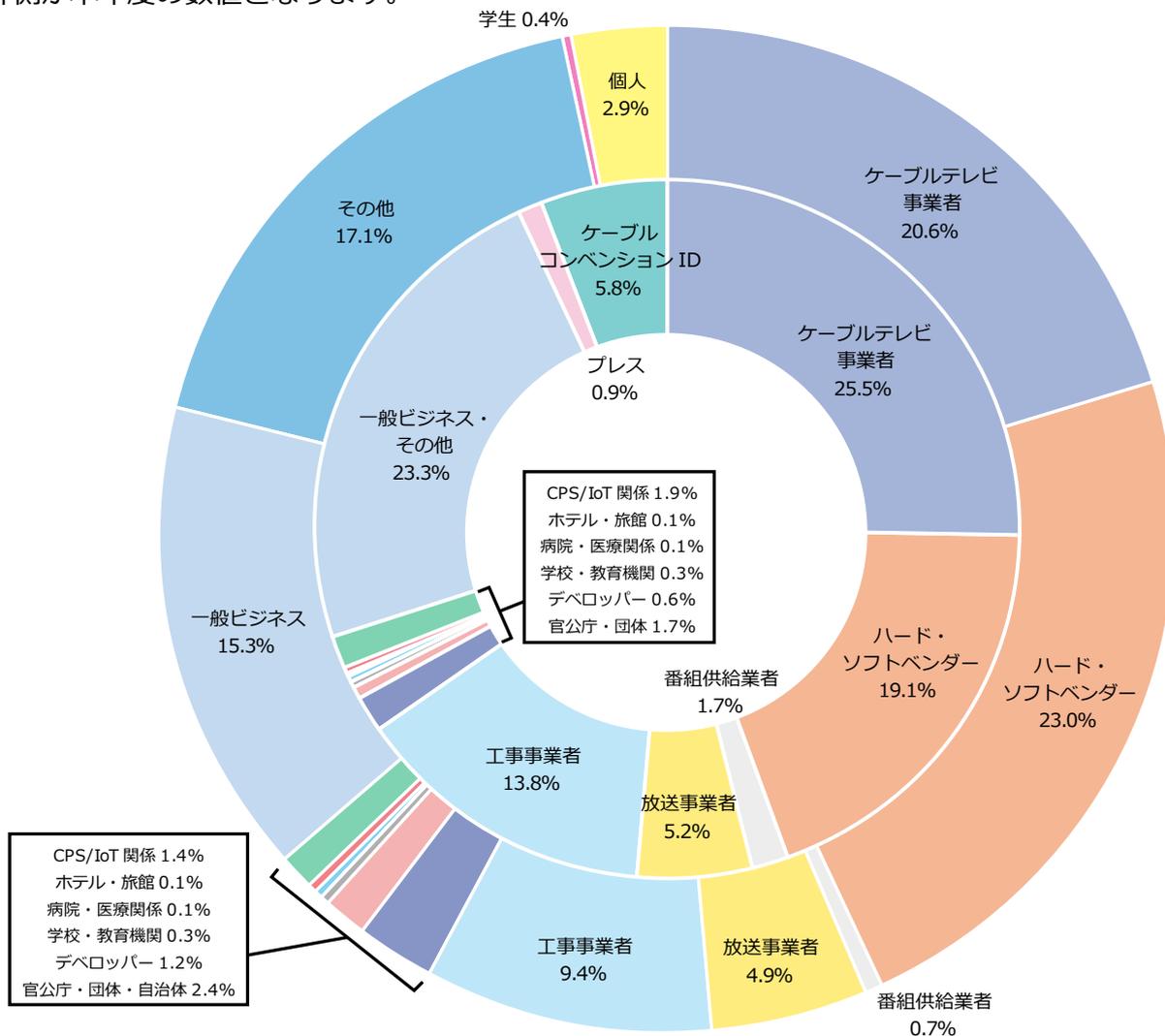
ケーブル技術ショー2019実績

プログラム	日程	来場者数
技術展示会	6月19日（木） 晴れ	6,082 名
	6月20日（金） 曇り	5,075 名
	合 計	11,157 名
技術セミナー	6月19日（木） 晴れ	763 名
	6月20日（金） 曇り	734 名
	合 計	1,497 名

※技術セミナーはプライベートセミナーの人数も含まれます。

業種別来場者の比率

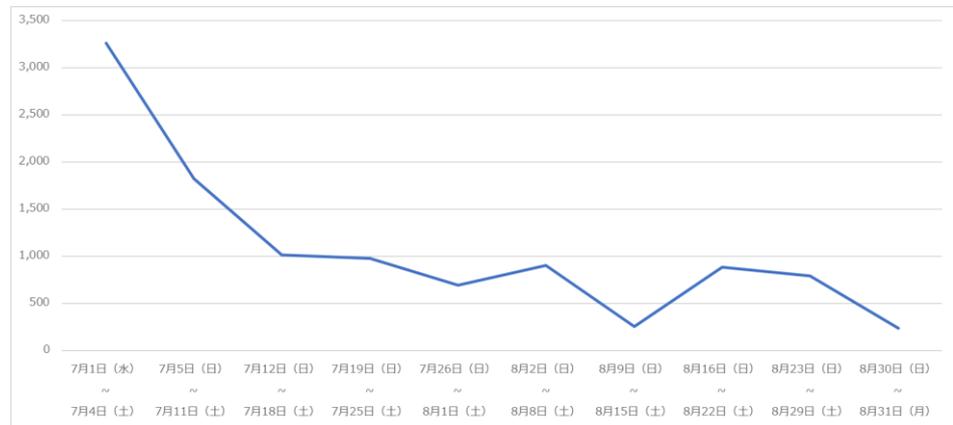
※内側が昨年度、
外側が本年度の数値となります。



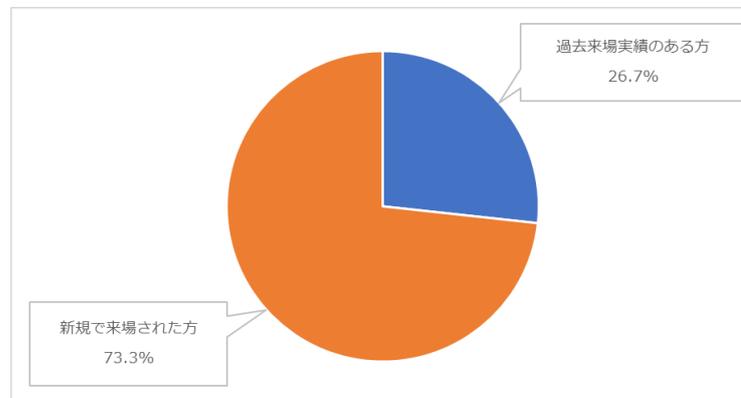
来場者数

来場者数の分析

●来場者数の推移



●来場者の新規性



閲覧・視聴数集計

■ 出展数：51社／主催者テーマ展示5団体

パネル閲覧数合計 (重複あり)	展示総数687点	123,423回
動画閲覧数合計 (重複あり)	展示総数117点	15,389回

パネル閲覧数 TOP 5
ローカル5G×ネットワークスライシング (NECネットエスアイ)
地域プライベートネットワークシステム「地域BWA×ローカル5G」 (NECネットエスアイ)
STBラインアップ (パナソニック システムソリューションズ ジャパン)
5Gゲートウェイ (パナソニック システムソリューションズ ジャパン)
「地域BWAシステム」リーフレット- 1 (NECネットエスアイ)

動画閲覧数 TOP 5
4K/ACAS (パナソニック システムソリューションズ ジャパン)
ケーブル局様とともに「ニューノーマル」へ (パナソニック システムソリューションズ ジャパン)
次世代サービス (パナソニック システムソリューションズ ジャパン)
ハイコネが創る新しいテレビ体験 (NHK放送技術研究所)
アイ・オー・データ デバイスマネージメント (アイ・オー・データ機器)

出展者一覧

プラットフォーム・総合

NECネットエスアイ
ジャパンケーブルキャスト
住友電気工業
ファーウェイ・ジャパン（華為技術日本）
古河電気工業

関電工
シンクレイヤ
パナソニック システムソリューションズ ジャパン
富士通ネットワークソリューションズ
ミハル通信

ヘッドエンド系・受信端末・伝送系

アイ・オー・データ機器
伊藤忠ケーブルシステム
三信電気
GSユアサ
大電
ティーブイエスネクスト
DXアンテナ
トラフィック・シム
朋栄
三菱電機
メディアリンクス
RIEDEL Communications Japan

APRESIA Systems
SCSK
サン電子
ダイコー通産
DTSインサイト
THK
東京電機産業
バッファロー
マスプロ電工
MEDIAEDGE
横河計測

ソフト・制作系・CPS/IoT・部品等

伊藤忠ケーブルシステム／アイテック阪急阪神
クロスイメージング／気象サービス
サテライトコミュニケーションズネットワーク
東亜ソフトウェア
東洋紡エンジニアリング
ニューメディア
ビーテック
武蔵エスアイ

オムニディジコム
さくら映機
データブロード
東京シー・エム・シー
日興通信
ネットセーブ／EXFO JAPAN
マウスコンピューター

主催者テーマ展示

IPDCフォーラム
NHK放送技術研究所
放送サービス高度化推進協会（A-PAB）

IPTVフォーラム
日本ケーブルラボ

オンライン展示会 キャプチャ



オンライン展示会エントランス



公式ウェブサイト トップページ



プラットフォーム・総合



ヘッドエンド系・受信端末・伝送系



コンテンツサーチ



ソフト・制作系・CPS/IoT・部品等

バーチャルブース (事務局パッケージブース)

オンライン展示会 キャプチャ

バーチャルブース (自社ブースイメージ (パース) 掲載 : 11社)



オンライン テックセミナー

ケーブル技術ショーでは主催者および出展者がユーザーに向けたオンライン テックセミナー（技術セミナー）を公開、ケーブル技術業界の動向や各企業の最新技術・ソリューションを紹介しました。

- 会場：ケーブル技術ショー2020 オンライン展示会内「オンライン テックセミナー」
- 開催期間：2020年7月1日（水）～8月31日（月）
- 受講料：無料（登録制）

【主催者セミナー】ケーブルテレビ業界における無線活用

地域ワイヤレスジャパン 代表取締役社長／住友商事 理事
メディア事業本部副本部長
ケーブルテレビ事業部長
小竹 完治 氏

ケーブルテレビ事業者の今後の事業拡大戦略として、ケーブルテレビ業界が一丸となって取り組む「無線活用戦略」。その業界戦略と、ケーブルテレビ事業者の取り組みを支援する地域ワイヤレスジャパンの事業・サービスを、「地域BWA」や昨年12月に制度化された「ローカル5G」の制度・活用例を交えてご紹介しました。

CATV業界無線戦略



海外無線動向



RWJ展開サービス



Wireless社会に向けた最新ソリューション

伊藤忠ケーブルシステム
ネットワークソリューション本部 CATV・ネットワークシステム部 ネットワーク営業グループ
田部井 和道 氏

この度のセミナーでは「Wireless社会に向けた最新ソリューション」と題して、弊社のWireless製品を中心にご紹介しました。現在、Wirelessとして「5G」や「WiFi6」などがキーワードになり、IoTなど新しいサービスも出てきました。1つの転換期である今、弊社としてご提供できる端末をご紹介しました。またFTTHインフラの整備も必須であり、「NOKIA 10G-PON」のご紹介もしました。

会社概要 / Wirelessの流れ / ICSのWireless戦略



製品紹介 NOKIA 10G-PON



製品紹介 Ruckus WiFi



製品紹介 BKTel LTEカメラシステム



オンライン テックセミナー

「新しい生活様式」における地域ネットワークを支える

NECネットエスアイ

▼NECネットエスアイの目指すスマートシティのコンセプト

デジタルタウン推進本部 担当部長 有川 洋平 氏

▼「新しい生活様式」における地域ネットワークの重要性

デジタルタウン推進本部 担当 野島 舞 氏

▼地域ネットワークを支える先端技術

デジタルタウン推進本部 担当課長 竹澤 寛 氏

本セミナーでは、「新しい生活様式」における地域ネットワークを支える地域BWAとローカル5G、サービス毎の柔軟な通信制御を実現するネットワークスライシングについてご紹介しました。

コロナ禍においてネットワークが社会・経済活動を維持するライフラインとなり、必要なサービス・場所・ニーズに最適なネットワークの整備が重要になります。NECネットエスアイはコンサルティングから、設計・構築・運用・保守までワンストップでご提供します。

NECネットエスアイの目指すスマートシティのコンセプト



■ 視聴する

「新しい生活様式」における地域ネットワークの重要性



■ 視聴する

地域ネットワークを支える先端技術



■ 視聴する

「これから始めるSaaS」クラウドを使った放送監視同録

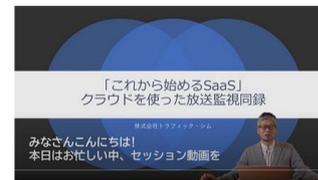
トラフィック・シム

クラウド事業開発部 部長

山田 幸太郎 氏

放送監視・同録システムのパイオニアとして、オンプレで提供してきた数々のサービスをクラウドで行った場合、どんなメリットがあるのか、潜んでいるデメリットをどう解消するのか。また、トラフィック・シムのSaaS(Software as a Service)を利用したいがどうしたらいいの？放送監視・同録システムをクラウドで使う事は大丈夫なの？SaaSってよく聞くけどどういうサービスなの？と言った、使用するに当たって出てくる皆様の疑問を解決、実際の導入事例などをご紹介しました。

本セッションについて～クラウドって何？SaaS(サーズ)って何？



■ 視聴する

SaaS(サーズ)&クラウドのメリット・デメリット



■ 視聴する

トラフィック・シムのSaaS(サーズ)「RecShare CLOUD」(レックシェアクラウド)について



■ 視聴する

トラフィック・シムが提供する他のSaaS(サーズ)～まとめ



■ 視聴する

主催者テーマ展示

展示概要

ケーブル技術ショー2020 オンライン展示会「主催者テーマ展示」では、最先端ケーブル技術で地域や社会の課題解決に取り組み、次世代のケーブルイノベーションに貢献する技術を紹介しました。

①IoT放送&LPWA(P2P型)の連携によるパーソナル避難誘導システム [協力：IPDCフォーラム]

IPDCフォーラムは、同時大多数に対する一斉同報性に優れる放送波の優位性を生かした「IoT放送」の具現化を推進しています。今年も、昨年に引き続き、防災減災分野におけるIoT放送の有効性の可視化を狙いとして、V-high帯における特定実験試験局の免許を取得し、緊急時のパーソナル避難誘導のプロトタイプを開発し、実際のフィールドでの実証実験を進めており、その概要をご紹介します。地域におけるP2P型のLPWAとの連携で、既設の通信に依存せずにスマホからの上りを実現し、IoT放送からのコマンドを受けたスマホが、通信の輻輳が懸念される緊急時においても、状況に応じた適切な避難誘導を実現する仕組みをご紹介します。



②スマートホンからテレビでの配信動画視聴への誘導 [協力：IPTVフォーラム]

放送と通信とを連携させる仕組みにハイブリッドキャストがあります。ハイブリッドキャストは2013年からサービスを開始しており、対応するテレビの出荷台数は累計1,100万台となっています。ハイブリッドキャストは対応テレビにインターネット経由で静止画や動画コンテンツの取得を指示するのですが、その指示を送るのにデータ放送の機能を使うので、地方局ではなかなか運用ができませんでした。一昨年にIPTVフォーラムから仕様が公開された「ハイコネ」（ハイブリッドキャスト・コネクトの略）は、その指示をスマートホンから送る仕組みとなっているので、地方局でも運用でき、スマートホン中心のライフスタイルになってしまった視聴者にとっても、スマートホンとテレビが「仲よし」な世界を作ることができます。

今回のデモでは、SNSなどからスマートホンに送られたメッセージをタップするだけでテレビが作動し、「Paravi」の動画を視聴できる様子をご紹介します。



主催者テーマ展示

③ハイコネの技術紹介と活用事例 [協力：NHK放送技術研究所]

日々の生活行動と放送サービスをより簡単に結びつけるために、視聴者が日常利用しているスマホやIoT機器を起点としてテレビ上のハイブリッドキャストアプリケーションと連携するハイブリッドキャストコネクト（ハイコネ）の開発を進めてきました。ハイコネの機能により、新しいユーザー体験を提供するサービスの実現に向けた取り組みが可能となります。

NHK技研では、ハイコネを実現する端末連携プロトコルの開発に取り組み、IPTVフォーラムの標準技術規格およびJlabsの運用仕様策定に貢献しました。こちらでは、ハイコネの技術、活用事例、そして開発支援ツールについて紹介いたしました。



④高度次世代ケーブル技術 [協力：日本ケーブルラボ]

サービス、端末、配信、インフラに関する5つの次世代ケーブル技術の展示を行いました。次代の映像サービスとして期待される仮想現実感について、従来の360度映像の各視点に適合したサウンドVR技術、マイナンバー・ケーブルID基盤と連携してOTTはもとより生活情報、E-コマースなど様々なケーブル通信サービスを提供できるスマートケーブルアシスタント、STBのローコスト化を目的に必要最低限の機能実装によるラボ標準の第3世代STB、ケーブル回線の利用効率を2倍以上に高められる次世代映像配信のための放送通信自動切換技術、ケーブル最新技術である分散化・仮想化によるヘッドエンド設備のエコ化をケーブル事業者の各事業環境に即して簡単にコスト計算できる第2世代インフラコスト分析シミュレータについて、動態デモを含めて紹介しました。



主催者テーマ展示

⑤別世界！新4K8K衛星放送 ～電波漏洩対策とマンションへの4K8K導入事例～ [協力：放送サービス高度化推進協会（A-PAB）]

新4K8K衛星放送は2018年12月1日から本放送を開始して1年半が経過し、新4K8K衛星放送を視聴可能な受信機器台数は4月末で400万台を突破しました。

当ブースでは、

- 新4K8K衛星放送の基礎知識（番組情報や受信方法等）
- 安定受信に必要な「電波漏洩対策」とは？（SH・HSマーク機器、助成金制度等）
- マンションへの新4K8K衛星放送導入事例、視聴方法（ケーブルテレビ、全面改修、周波数変換方式等）などを幅広く、わかりやすくご紹介しました。



来場者アンケート集計結果

オンライン回答 226名



多彩なコンテンツ



4K8K



防災・減災



高速通信時代



Smart Home



無電柱化の街

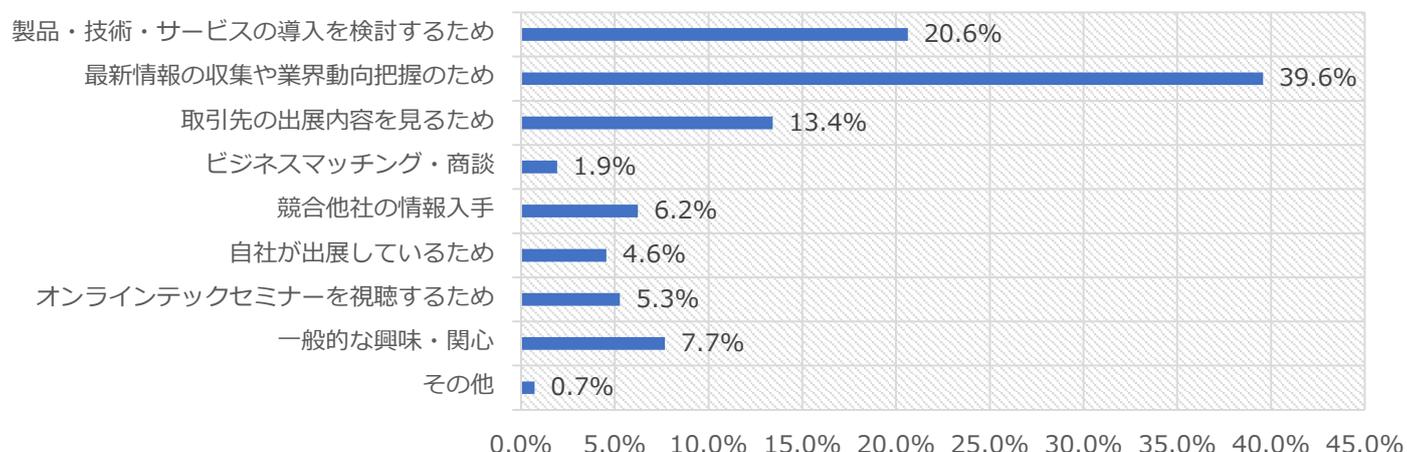


デジタル革新

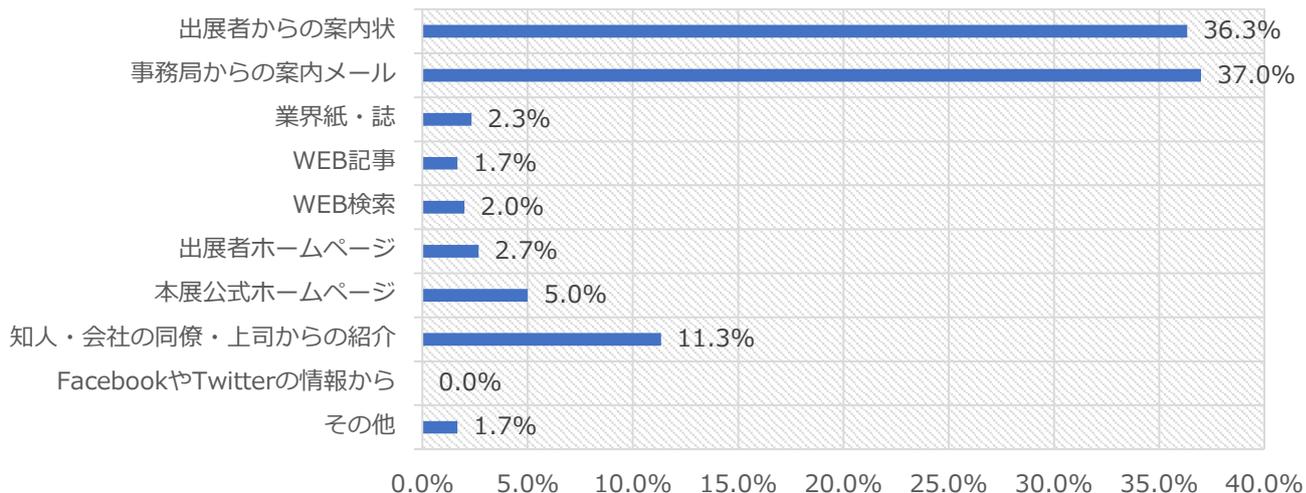


来場者アンケート集計結果

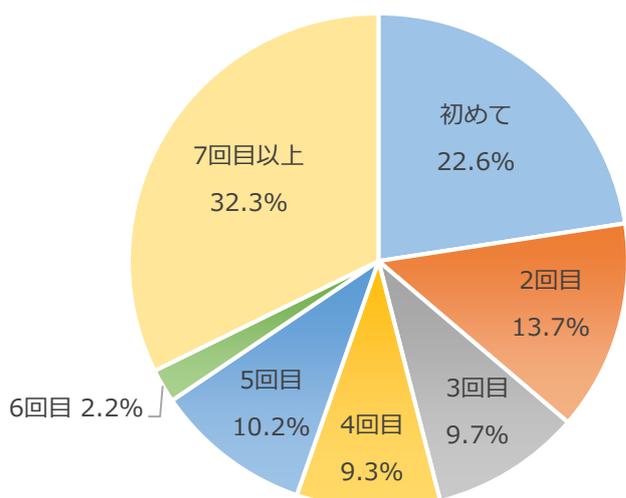
Q1.本展に来場（閲覧）された目的は何ですか。（複数回答可）



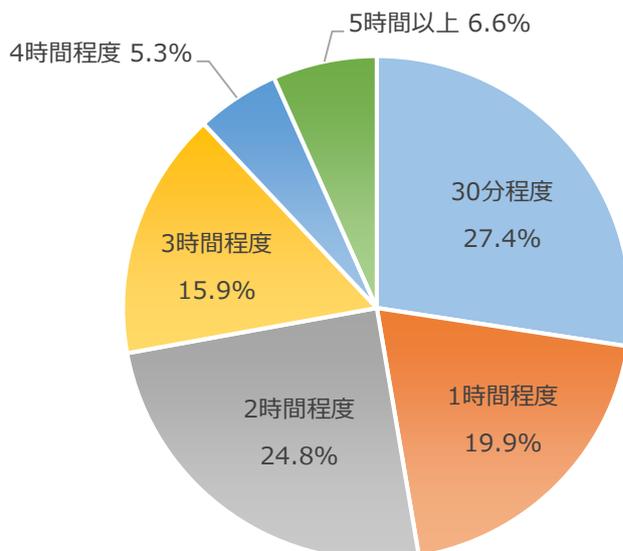
Q2.本展を何でお知りになりましたか。（複数回答可）



Q3. 過去を含めて本展への来場頻度をお聞かせください。

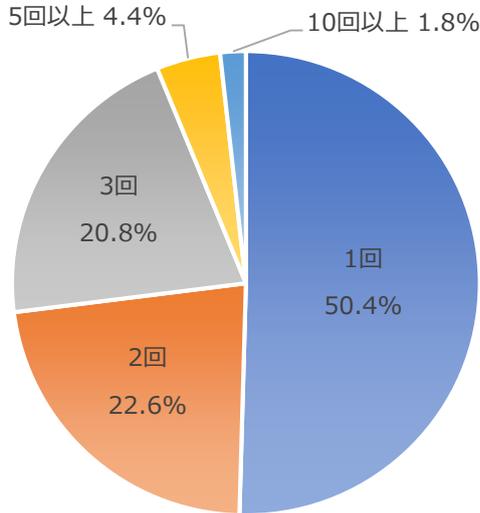


Q4. 1回の来場につき本展をどのくらいの時間ご覧になりましたか。

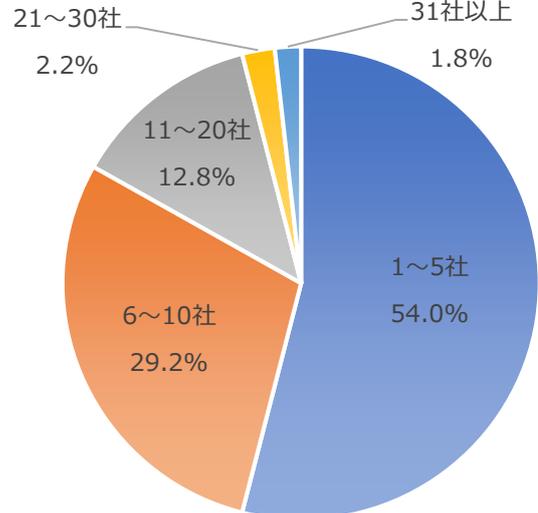


来場者アンケート集計結果

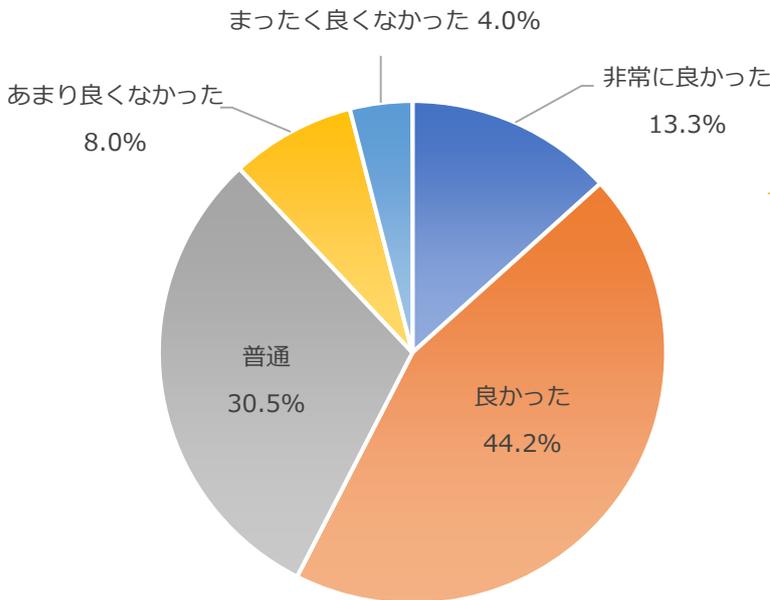
Q5.開催期間中（7月1日～8月31日）に何回本展に来場されましたか。



Q6.開催期間中（7月1日～8月31日）に何社閲覧されましたか。



Q7.本展をご覧になった印象をお聞かせください。



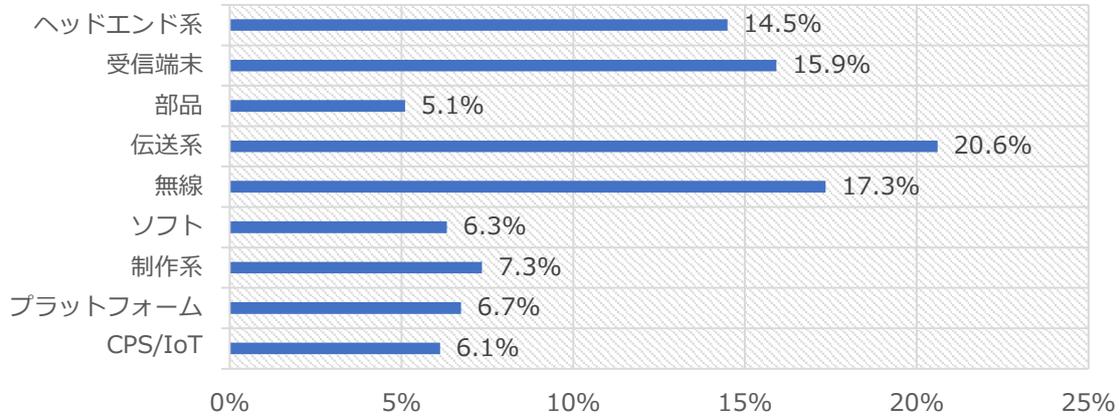
●理由をお聞かせください。

- ・ 知りたい情報を検索して即見られるのがありがたい。
- ・ 展示ブースを探して動かないで済むので、探す手間が省ける。事務所で見られる。
- ・ 文字・動画ベースとなるので、実機確認が出来ない部分や説明を受けられないので、チョット不満な点があります。
- ・ 各出展者の出展内容がよく分かった。でも、実際の展示では担当者とのやり取りがその場で出来るが、メール等で問い合わせになる分、相談や商談のやり取りに即効性がないのが残念だった。
- ・ 事務職なので、今まで展示会へ行ったことがなかった。社内に居ながら情報が得られ、開催期間中何度も入場できるので有意義であった。

- ・ 展示物について、項目別に解りやすく閲覧することができた。混雑した会場で見るとよりゆっくり見ることができた。
- ・ 動画での説明があるところは良かったが、パンレットの画像だけのところはインパクトがなかった。
- ・ 何が注目展示なのかをトップページでPRしてもらえるとより良かった。
- ・ 開催ができないのは残念だったが、新製品の情報やCATV業界の動向をつかむことはできた。
- ・ 各社出展内容が小窓で表示されていて、非常にわかりやすく見ることができた。
- ・ 2か月開催していただいたおかげで、隙間時間などを使ってゆっくりと見ることができた。
- ・ その場で担当の方との情報交換、情報収集ができないのは、わかっているがやはり物足りない。
- ・ 自由な時間に、自由な場所で、好きなだけ、じっくり閲覧・聴講できた。
- ・ 展示会内容を効率的に見ることができた。距離的・時間的制約がないオンライン展示会はよい取り組みだと思う。
- ・ 声を掛けられることがないので気軽にあちこち見ることができ、普段なら立ち止まらないようなブースでもいい情報に出会うことができた。

来場者アンケート集計結果

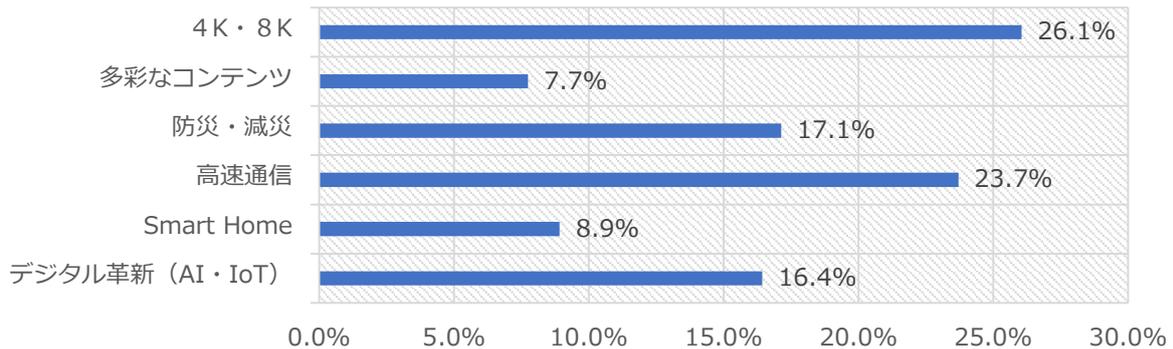
Q8.興味を持った出展内容・分野は何ですか。(複数回答可)



●理由をお聞かせください。

- ・ハイコネ/IoTに対応した受信端末に興味があったため。
- ・今後、5Gがどこまで社会に浸透していくのか興味がある。
- ・STB等の受信端末の担当をしているため。
- ・地震対策が可能な製品を確かめるため。
- ・4K8Kの詳細を知りたかった。
- ・制作系機器が更新時期のため。
- ・スマートシティに興味があるから。

Q9.興味を持ったトピックスは何ですか。(複数回答可)



●理由をお聞かせください。

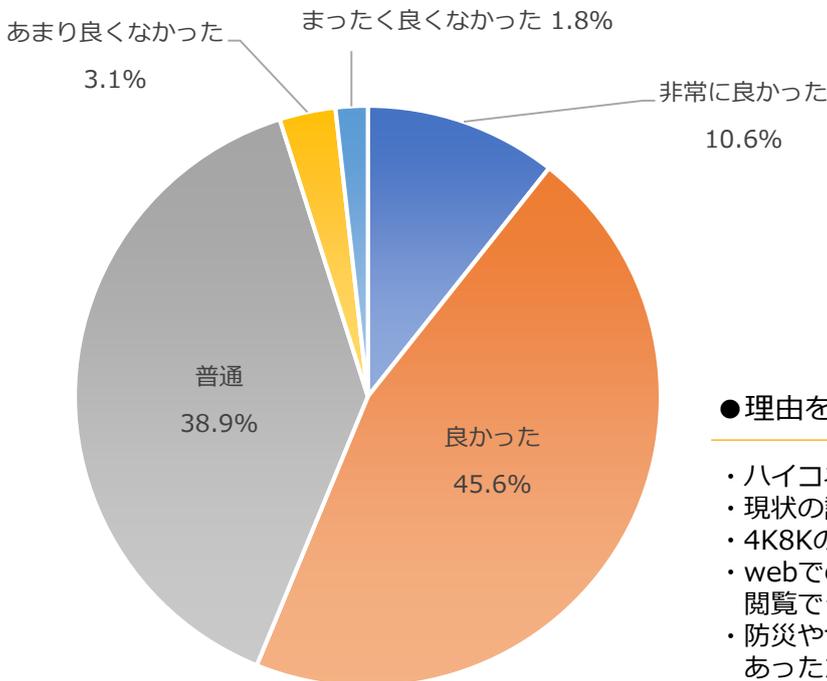
- ・ハイコネのオープンソースアプリがどのくらい普及するのか、興味深い。
- ・10G-EPON、FTTH化に興味があった。
- ・コロナ対策でのトピックスが良かった。
- ・昨今の4K放送運用とデジタル革新に興味があった。
- ・5G時代で様々なコンテンツの開発が期待でき、ビジネスチャンスにつながる。
- ・情報通信についての掘り下げた知識習得。
- ・インフラの先にあるデバイスの可能性を垣間見れた。
- ・防災時の対応、情報の伝達・提供が課題となっているため。
- ・自治体とCATV局の地域ネットワーク構築提案に活用できるため。

来場者アンケート集計結果

●今後取り上げてほしいトピックスがあればお聞かせください。

- ・地上波4K8K関連
- ・Docsisの動向
- ・機器冗長性を高めたヘッドエンド機器
- ・総務省の今後の展望
- ・テレワーク時の業務推進方法
- ・UTM（統合脅威管理）等について
- ・IP放送関連
- ・アーカイブ関連
- ・通信系デバイスも展示して欲しい
- ・リモート分野
- ・CATV網を利用した防災・減災コンテンツ
- ・地域のコミュニケーションテレビ網を構築する際の情報
- ・地元イベント会場のバーチャルイベント放送ツール特集
- ・5Gインフラを用いたコンテンツやツール
- ・IoT製品、スマートホーム製品、AI関連製品
- ・FTTHの集合住宅切替、10GE-PON切替
- ・各種測定器関係
- ・中継、配信に特化したハード・ツール
- ・農業、1次2次産業への応用について
- ・気象情報コンテンツ
- ・災害時の情報共有方法
- ・ローカル5G、DX（デジタルトランスフォーメーション）関連のツール、事例
- ・LPWA（Low Power Wide Area）関連のツール、事例
- ・地域密着で高齢者見守りサービス

Q10.主催者テーマ展示をご覧になった印象をお聞かせください。

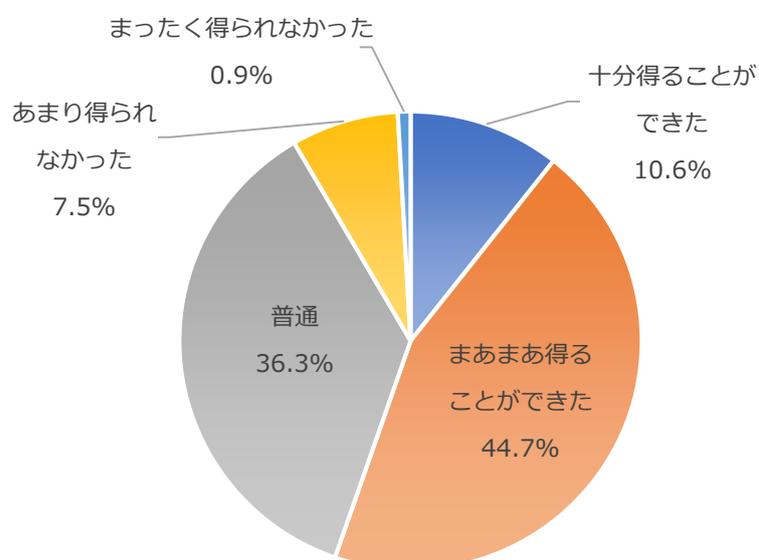


●理由をお聞かせください。

- ・ハイコネという一貫性が感じられた。
- ・現状の課題と解決方法がわかりやすく整理されていた。
- ・4K8Kの最新情報が取得できた。
- ・webでの展示に慣れないがリアル展示よりマイペースで閲覧できる。
- ・防災やサウンドVRといった地域密着に参考になる出展があったため。
- ・実物が見れないため、イメージがつきにくい。製品を360度回転などできたら良い。
- ・説明文等読みやすかった。
- ・コンセプトが明確な点。
- ・市場動向&最新技術を入手することができた。
- ・実際、展示を見て疑問を持ち、聞きたいことがすぐに聞けず解決できないことが不満。
- ・動画コンテンツも多く見直しができるため。

来場者アンケート集計結果

Q11.出展者・主催者テーマ展示のコンテンツ（画像・動画）から必要な情報を得ることができましたか。



●理由をお聞かせください。

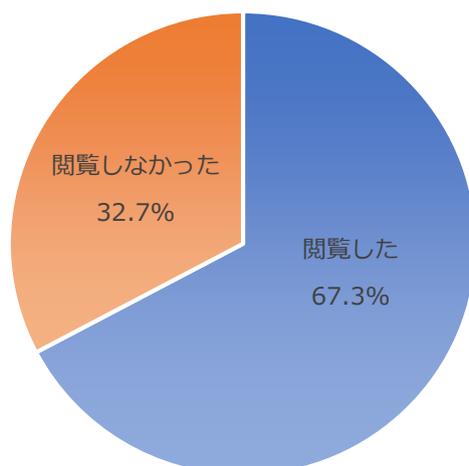
- ・画像のみではわかりにくい。
- ・整理されていて選びやすかった。
- ・全般的に平均的な内容だった。
- ・展示会よりも、自由に見られるため。
- ・現在のCATVがどこまで進んでおり、また課題も少し理解できた。
- ・カタログ資料が簡潔で分かり易かった。
- ・カタログを読む感じで内容は理解できた。
- ・一つ一つの動画が短時間であり、仕事の合間に見ることができ効率が良かった。
- ・一方通行ですので、結局の所どうなのか？確認できない部分が歯がゆい。
- ・実際に触れてはいないが動画等で性能など確認が取れた。

Q12.印象に残った出展者・主催者テーマ展示のコンテンツ（画像・動画）とその理由をお聞かせください。

※下記、回答件数の多かった上位ブースを掲載

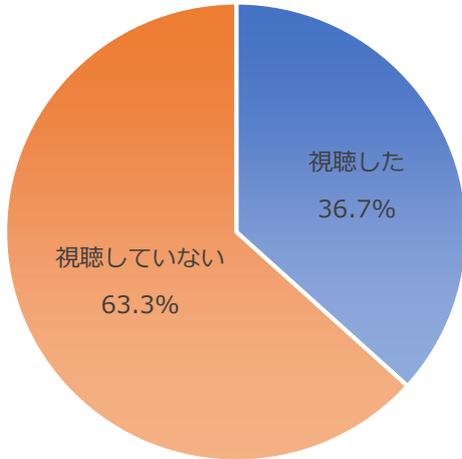
パナソニックシステムソリューションズジャパン	動画がわかりやすかった、4KSTVに興味があったため。
IPTVフォーラム	無くなってしまったV-LowからのV-Hiの活用であったので。
NHK放送技術研究所	ハイコネ
RIEDEL Communications Japan	BORELOがとてもいい製品だと思った。
ティービーエスネクスト	AIアナウンサーを利用したPR。
横河電機	機器説明動画。解りやすかった。

Q13.出展者情報ページから、各出展者のホームページにリンクされた資料・詳細ページを閲覧しましたか。



来場者アンケート集計結果

Q14.オンライン テックセミナーを視聴されましたか。



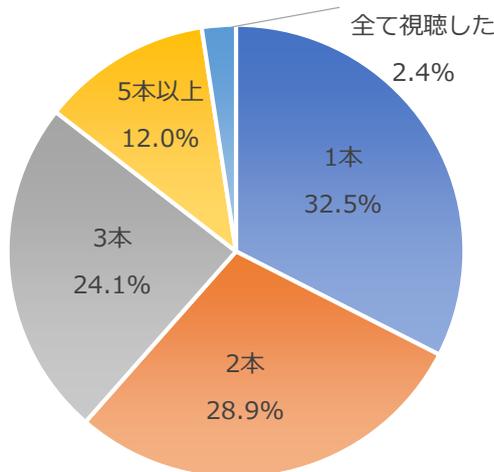
■「視聴していない」と回答した方

●その理由をお聞かせください。

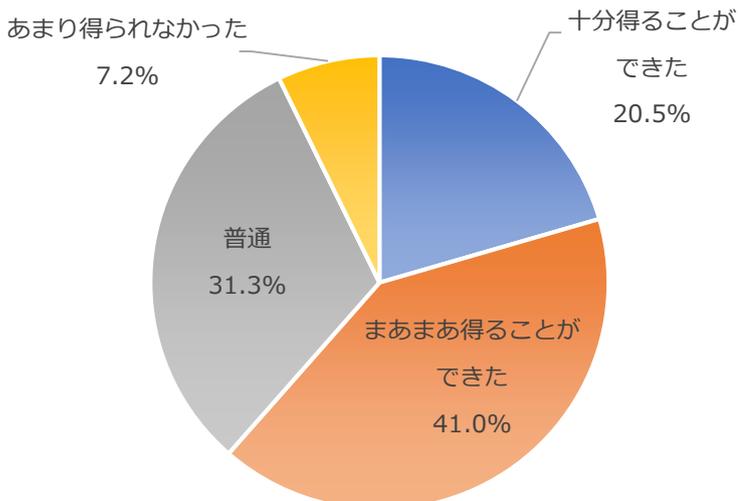
- ・別途登録が必要そうなため、面倒臭かったので視聴していません。
- ・時間が無かったため。
- ・存在を知らなかった。
- ・特に興味をひかれなかったため。
- ・またどこかで同じ話は聞けると思ったから。
- ・希望するセミナーが無かったため。

■「視聴した」と回答した方

1) 本展のコンテンツ（画像・動画）はいかがでしたか？



2) オンライン テックセミナーから必要な情報を得ることができましたか。

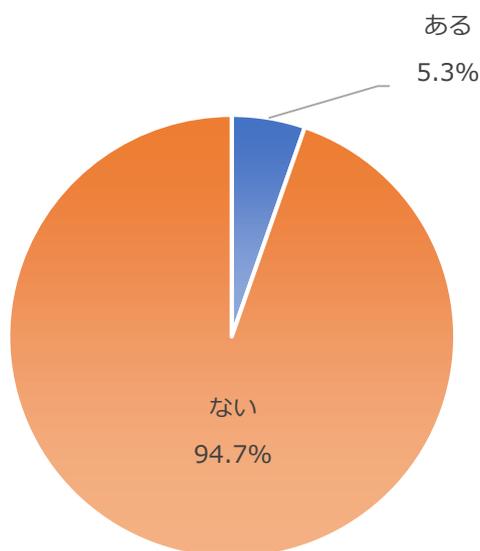


●その理由をお聞かせください。

- ・現況や今後の情報、動向がわかり良かった。
- ・実際の会場だと可能な雑談レベルの会話が、オンラインだと無いので残念。
- ・なんとなく現場で感じていたことがやはり主流だと確信できた。
- ・現在のCATV業界の動向が知れた。
- ・各社の概念や方向性が分かったから。
- ・質疑応答の時間が欲しかった。
- ・ローカル5G、ワイファイ6等の方向性、ケーブル事業者の今後の方向性がわかった。

来場者アンケート集計結果

Q15.これまで本展以外のオンライン展示会に来場したことはありますか。

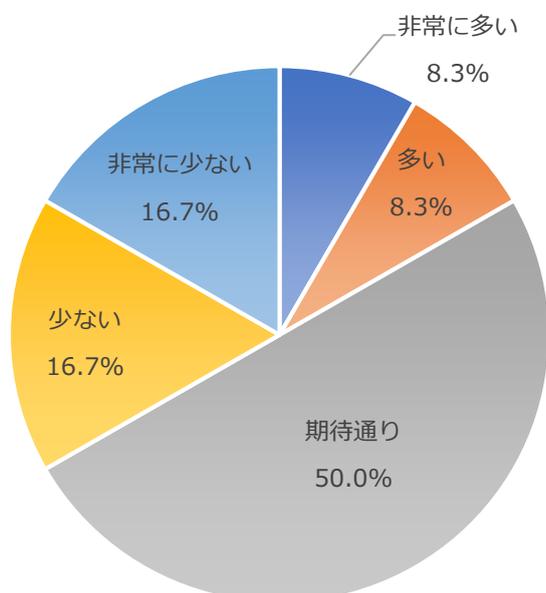


■本展以外のオンライン展示会に「来場したことがある」と回答した方

●展示会名をお聞かせください。

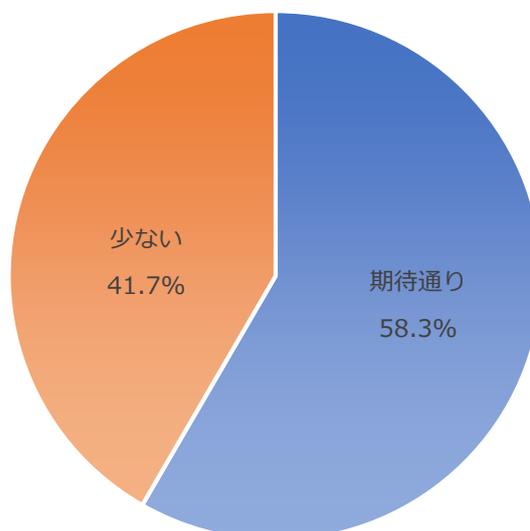
- ・ SKY
- ・ Smart Sensing ONLINE 2020
- ・ nabshow2020
- ・ HONDAモーターサイクルショー
- ・ 各種学会
- ・ Chip one stop
- ・ ヒロセ電機 ウェビナー「医療・産業機器へ活用されるウェアラブルデバイスの現在と未来」
- ・ Panasonic
- ・ バーチャル下水道展
- ・ Interop

●出展者数について、他のオンライン展示会と比較して本展はいかがでしたか。



●本展のコンテンツ（画像・動画）はいかがでしたか？

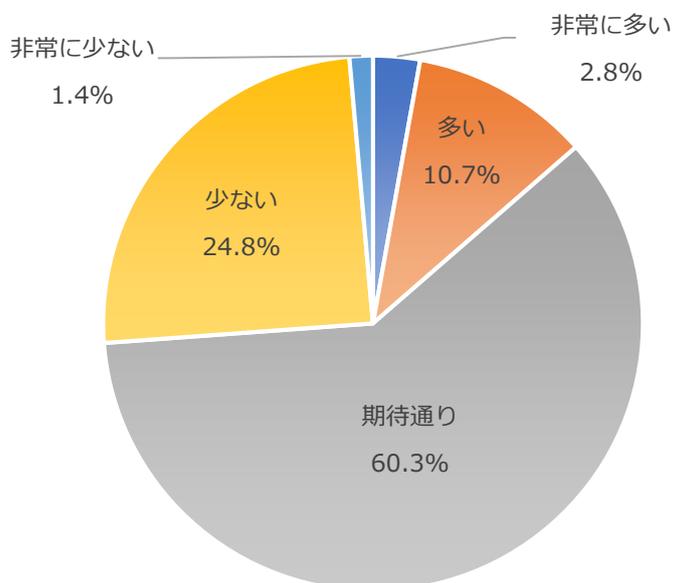
※以下の選択肢は0%の回答となりました。
非常に多い／多い／非常に少ない



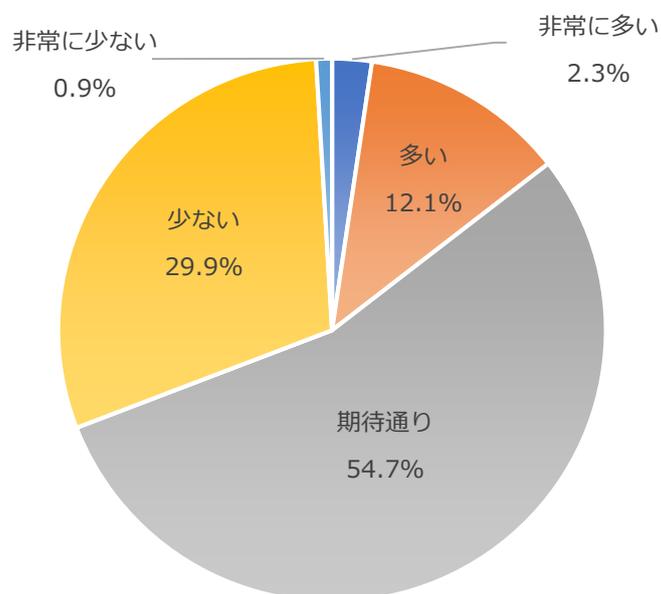
来場者アンケート集計結果

■本展以外のオンライン展示会に「来場したことがない」と回答した方

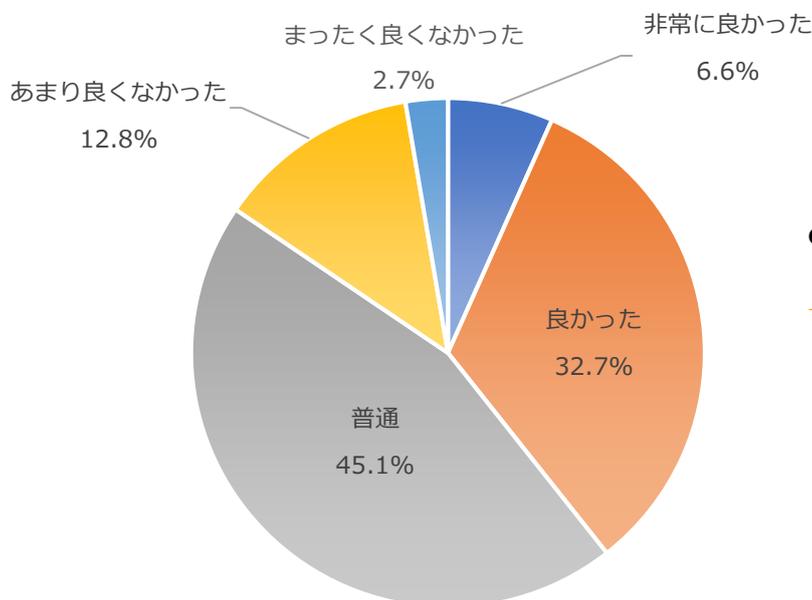
●本展の出展者数について感想を教えてください。



●本展のコンテンツ（画像・動画）はいかがでしたか？



Q16.本展の操作性、見やすさについてお聞かせください。



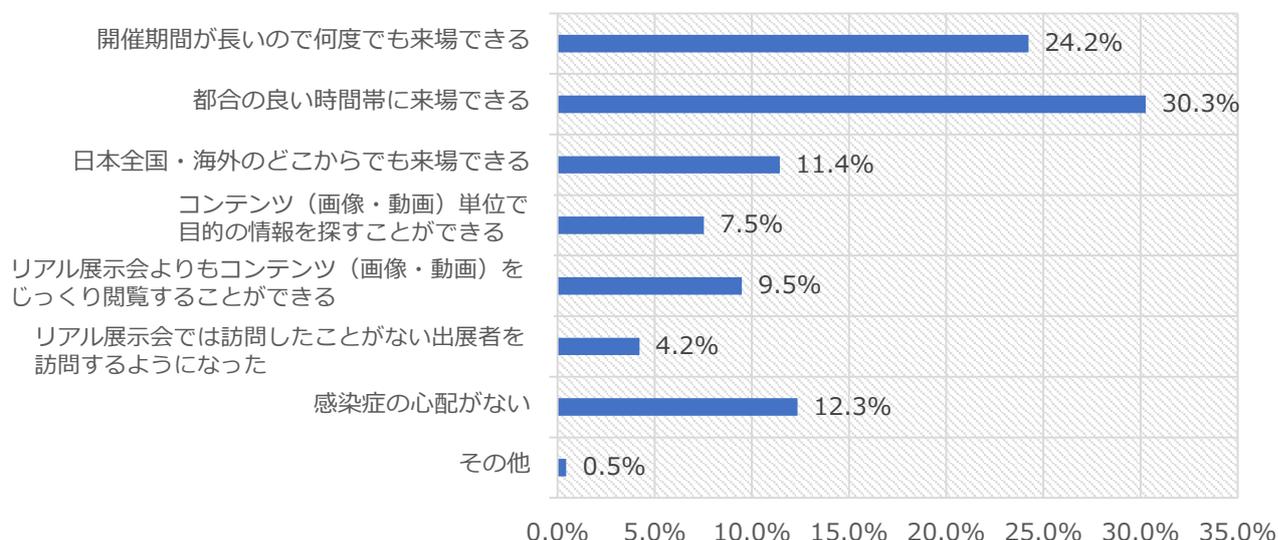
●「良くなかった」と回答した理由をお聞かせください。

- ・やはり集中した場合にアクセスが重くなる。
- ・ブース間の移動がやや手間に感じました。
- ・資料がPDFでないので、わざわざ請求しなければならないのが面倒。
- ・動作が重い。出展者間の移動が面倒。
- ・HOMEボタンが左下で探しにくかった。動画閉じる×マークもややもすると迷惑広告な印象を残す。
- ・資料について、1枚1枚、開いて閉じてを繰り返すのが面倒。ページめくりで見る方が楽。

- ・ログインするごとにメールアドレスの入力がわずらわしく、各社のページもパースはあまり関係なく、右側のパネルのみをクリックするため。パース図があるのであれば、そのパース内の図をクリックしたらポップアップするのが好ましい。
- ・いままでのような展示会で使うパネルをそのまま使ってあるだけで、実物のイメージがわからない企業がいくつかあった。
- ・一部文字が小さく読みづらい部分があった。

来場者アンケート集計結果

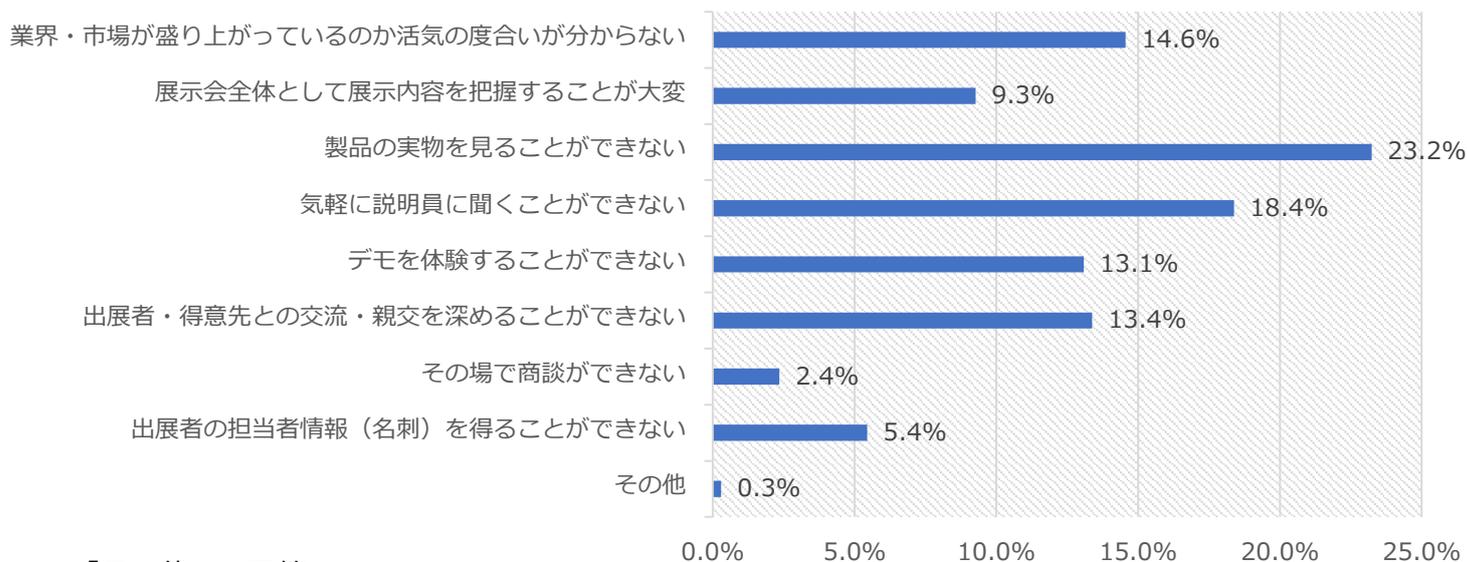
Q17.オンライン展示会でメリットと感じるところは何ですか。(複数回答可)



●「その他」の回答

- ・気を使わなくてよい。
- ・物理的な移動をしなくてよい点。
- ・出張費が掛からない。

Q18.オンライン展示会のデメリットと感じるところは何ですか。(複数回答可)

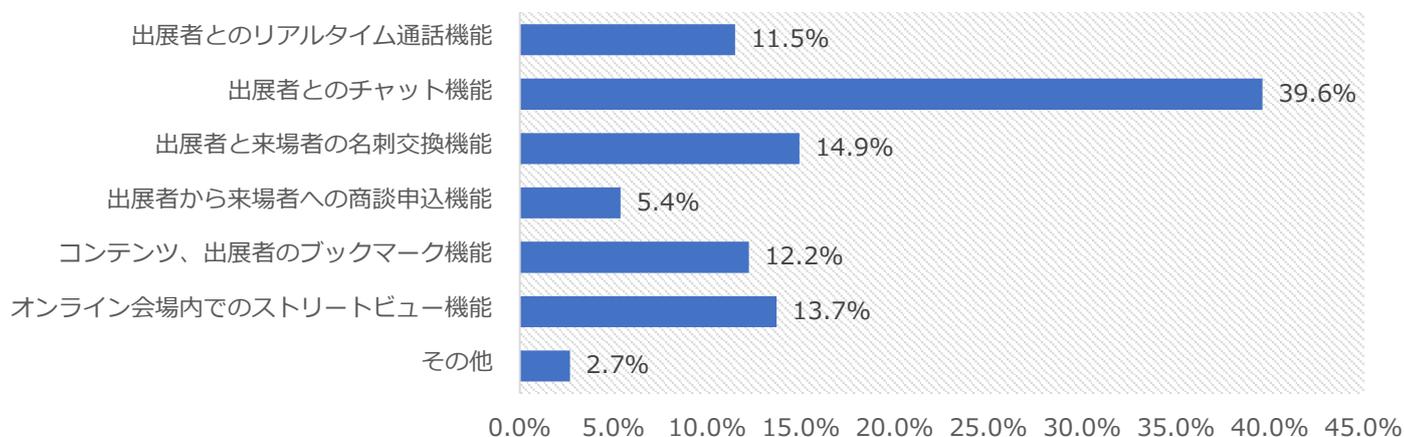


●「その他」の回答

- ・目的ではなかった興味深いものへの発見機会が少ないと思う。
- ・会社名を知らないとページに入っていけない。何となくの訪問から技術を知るという事がない。

来場者アンケート集計結果

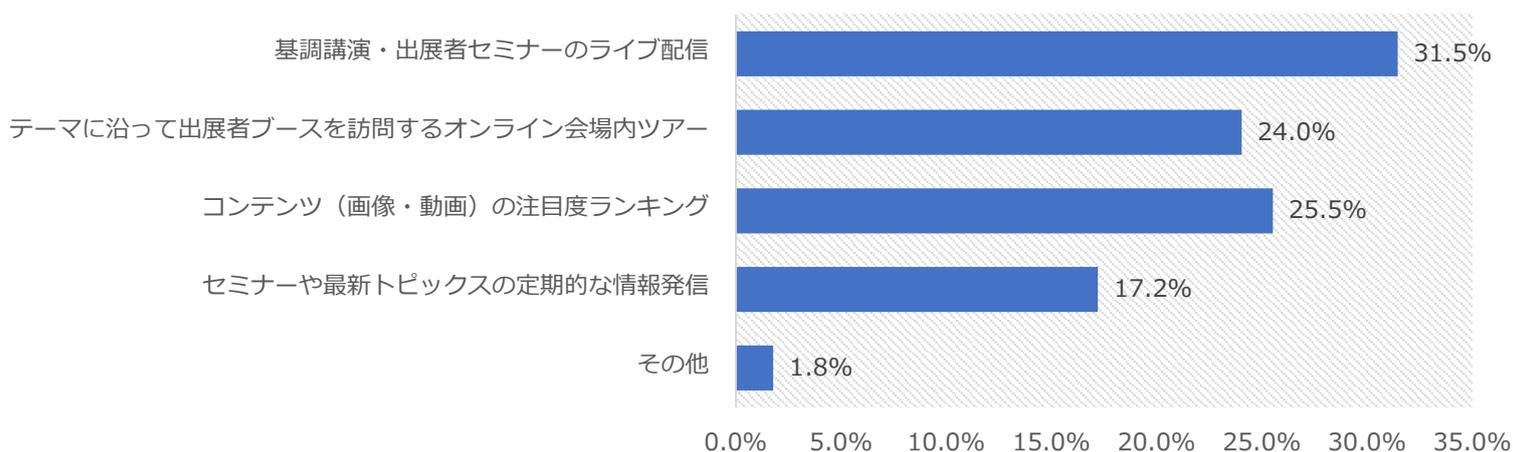
Q19.オンライン展示会で必要な機能はありますか。(複数回答可)



●「その他」の回答

- ・出展側としては対応したくないが、展示物について知りたい情報をすぐに聞ける機能があると良いと思った。
- ・各ブースの評価レビュー機能。
- ・来場者の多いブースの表示。
- ・出展者への訪問通知機能と、ご挨拶発信機能。
- ・各展示やセミナーに質問が書き込めるといい。
- ・説明員との質疑応答。

Q20.オンライン展示会で興味があるコンテンツはありますか。(複数回答可)

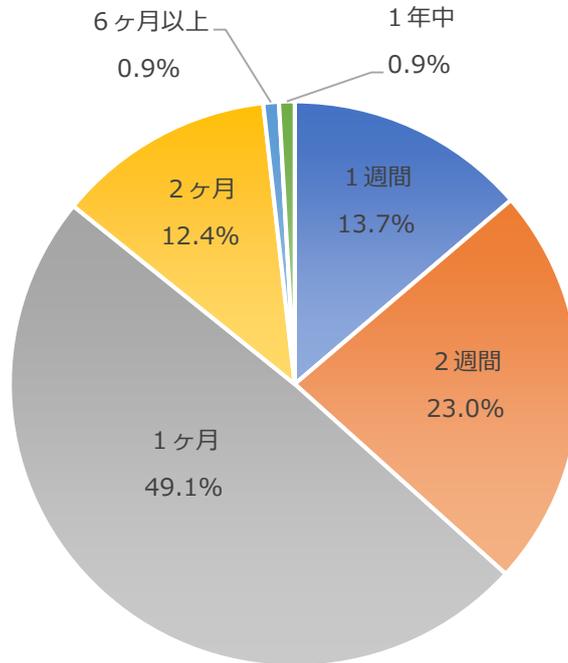


●「その他」の回答

- ・せっかくオンラインなのでIoTやICTのリアル体験ができると良い。
- ・基調講演やセミナーのライブ配信は有効である。オンラインによるパネルディスカッションなどあればさらに良い。

来場者アンケート集計結果

Q21.オンライン展示会の適切な開催期間はどれくらいだと思いますか。

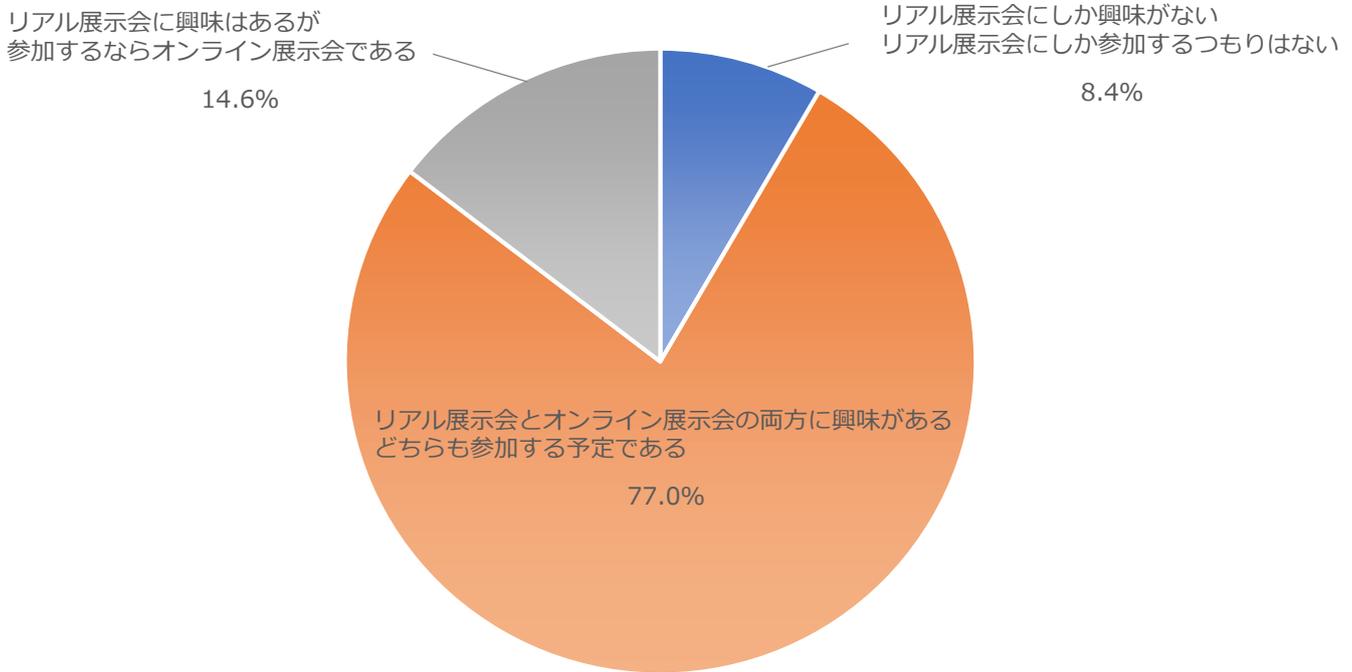


Q22.オンライン展示会の改善点やご要望があればお聞かせください。

- ・コンテンツ閲覧するとほぼ資料請求・問い合わせのボタンが表示されるのは閲覧意欲がそがれる傾向にある。
- ・告知が遅かったのもっと早めに告知してほしい。
- ・まとめてダウンロード等できると便利。
- ・ログインしないで視聴したい。
- ・事前登録によるID、PASSの交付。
- ・期間限定コンテンツを配信することで、個々の訪問回数が増えそう。
- ・目的のトピック以外のところに行きにくい。
- ・閲覧するユーザ端末の画角サイズを気にしたい。モバイル端末では見るのが大変な部分もある。
- ・出展者への質問の一括受付窓口とその回答の全体への公開があると良い。
- ・過去のバーチャル展示会は残したまま、来年度以降も過去と比較のために参照できるようにしてほしい。
- ・プログラムメニューを公式HPに掲載してほしい。
- ・リアルタイムチャットなどで気軽に確認できればと感じた。
- ・企業ブースのコンテンツ画像にページ送り機能があればよいと感じた。
- ・テーマごとに企業を紐づけるとか、キーワードで検索しやすくしてほしい。
- ・場内をほんとうに歩きまわると感じたい。
- ・開催期間は、コンテンツによって差異を出すのも方法の一つかと思う。
- ・期間が長すぎた感じはある。
- ・ARコンテンツ動画での視聴。
- ・VRで商品を体験できたら良いと思う。
- ・常設の展示があっても良いと思う。

来場者アンケート集計結果

Q23.今後の展示会への来場についてお聞かせください。

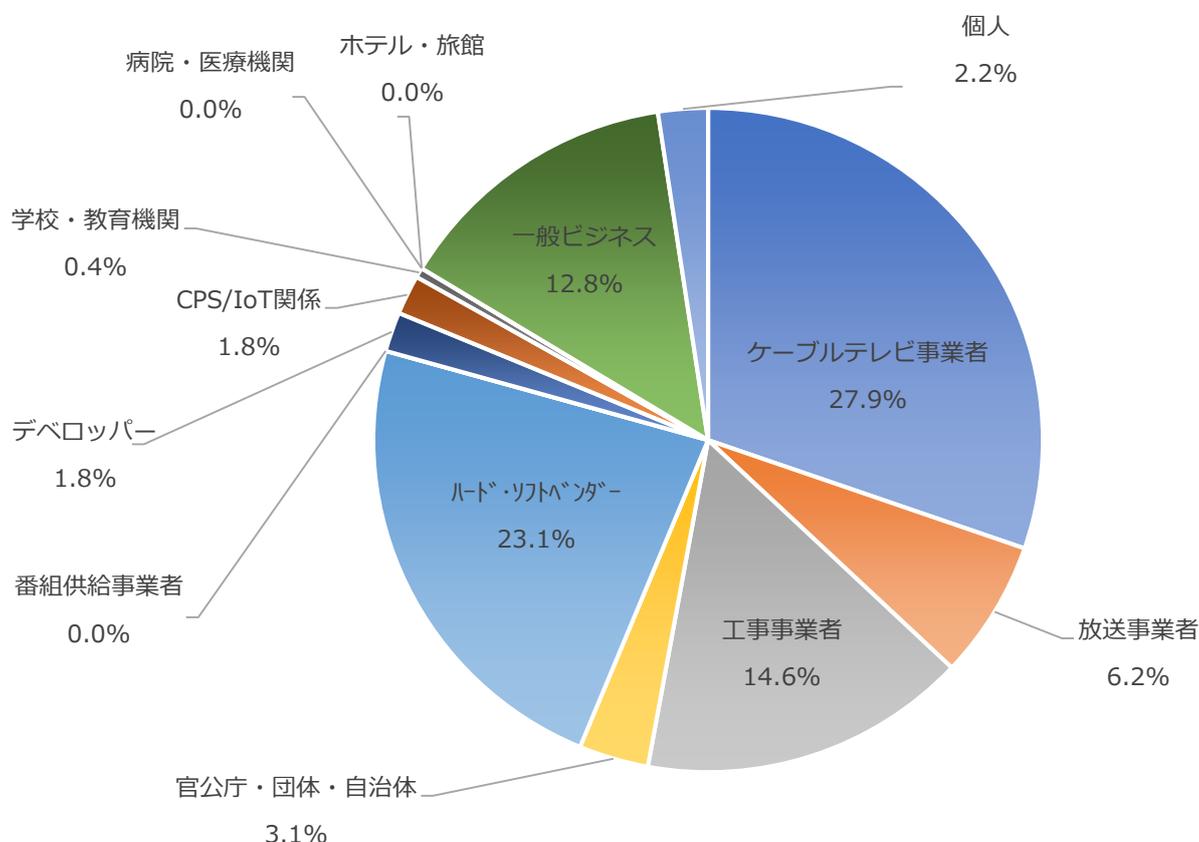


Q24.2021年開催のケーブル技術ショーに期待するものがあればお聞かせください。

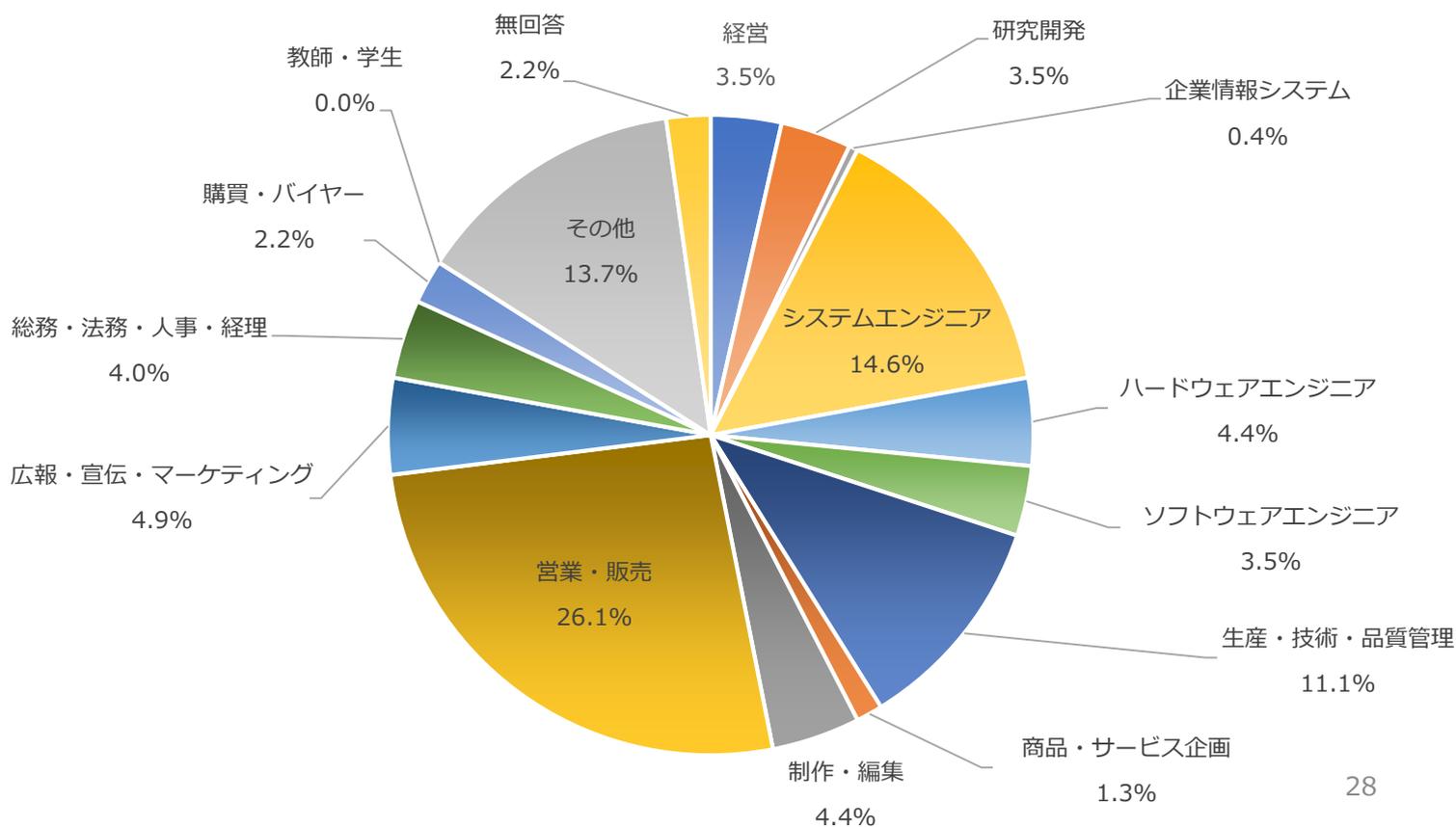
- ・最新の情報が得られるようなケーブル技術ショーにしていきたい。
- ・放送のIP化、ALL-IP等の分野。
- ・長期間開催する場合は、途中でコンテンツの変更などがあると面白いかもしれない。
一方通行ではない、何かしらの「返し」が来る仕組みを用意してもらいたい。
- ・事前にオンライン展示会があって、リアル展示会で興味を持った案件を確認することで、
効率的に展示会をまわりたい。
- ・商品や動向を知るという点では、オンラインで十分。ただし商品をリアルに見たり、気軽に
質問・説明でき、人的交流ができるという点ではリアルでないと不可能。
コロナ禍が許せば、ぜひハイブリッド型の開催を希望。また、ショーを総括するような基調講演や、
新入社員など業界デビューの方向けのやさしい見どころ講座などがあっても良いと思った。
- ・可能であればオンラインではなくリアルの展示会を開催していきたい。
- ・リアル展示とオンライン展示の同時開催。
- ・webでの取り組みは是非残して欲しい。
- ・IoT分野の出展増加。
- ・4K関連の充実。
- ・規模を大きくしてほしい。
- ・地域とケーブルの接点をもっととりあげるなど業界全体を盛り上げるようなショーを期待。
- ・出展企業にとってビジネスに繋がる方法をより強くご検討いただきたい。
- ・リアル展示会が開催され、業界の活性化ができれば良いと思う。

来場者アンケート集計結果

F1.勤務先の業種をお聞きします。

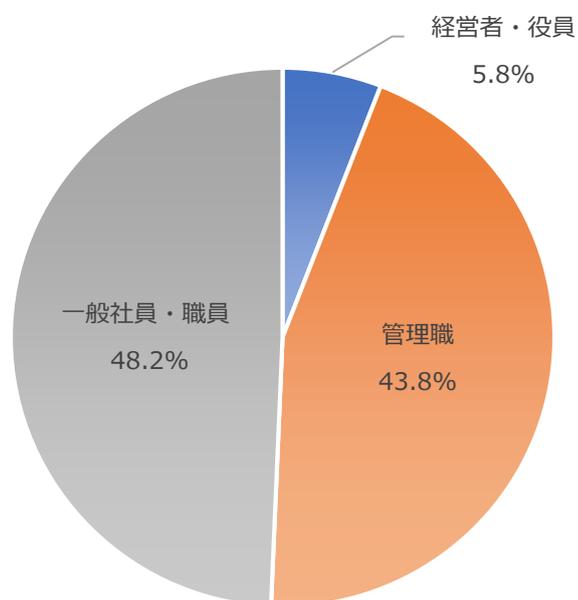


F2.勤務先での職種をお聞きします。

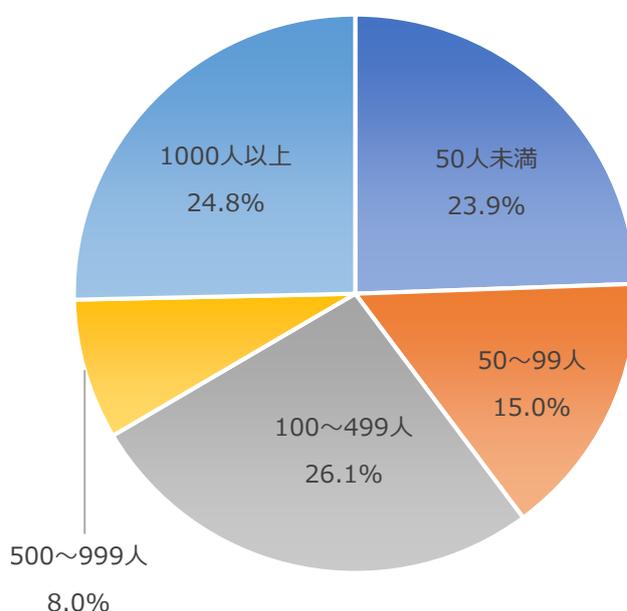


来場者アンケート集計結果

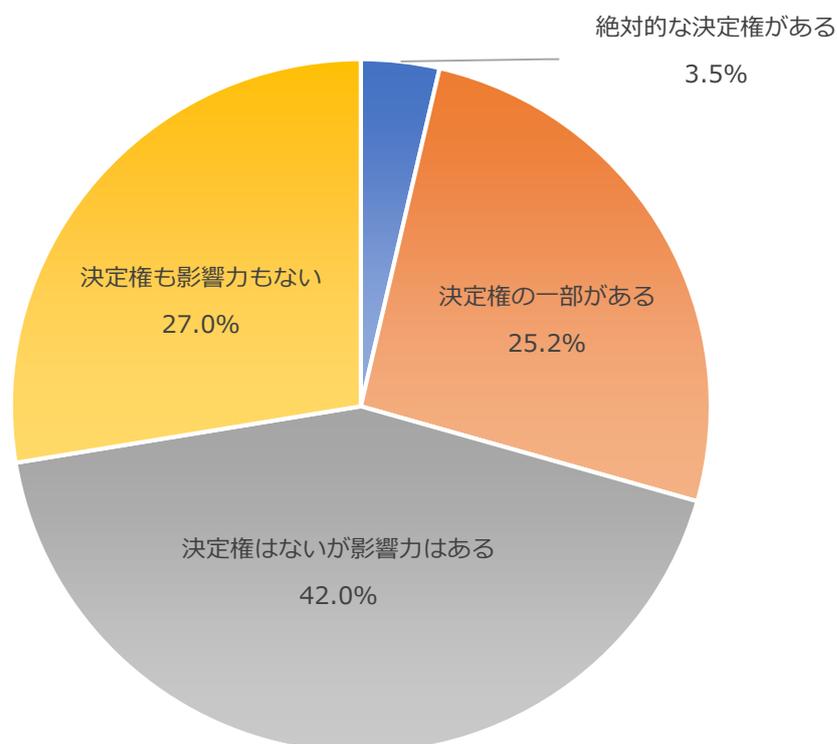
F3.職務レベルをお聞きします。



F4.従業員数は。

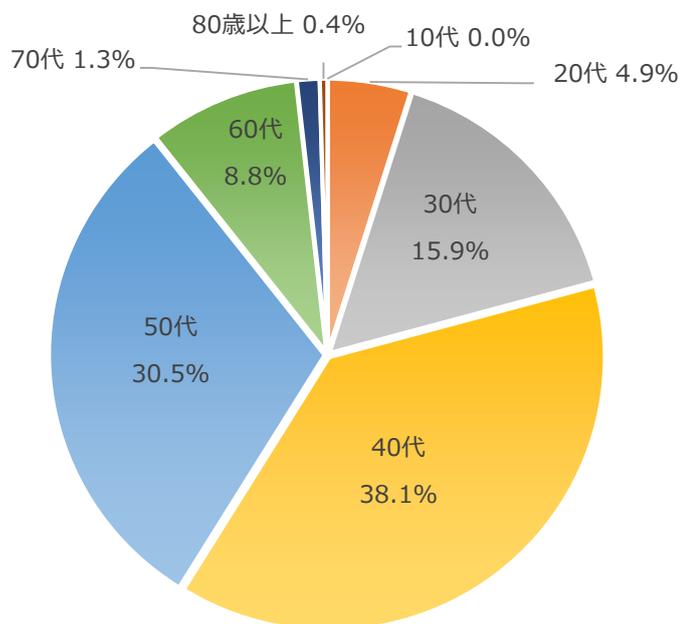


F5.製品・技術・サービスの購入・導入について決定権や影響力をお持ちですか。

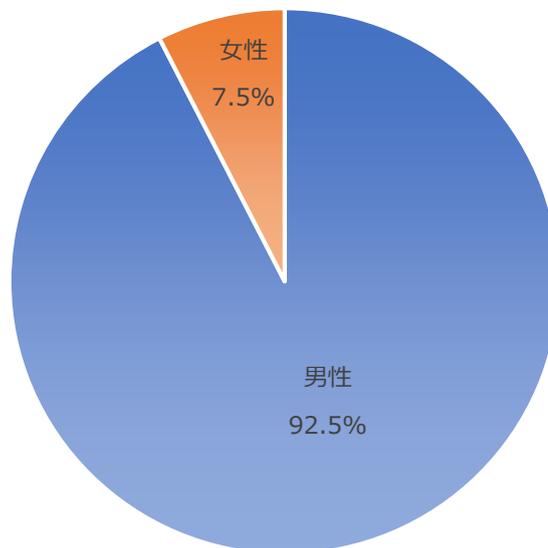


来場者アンケート集計結果

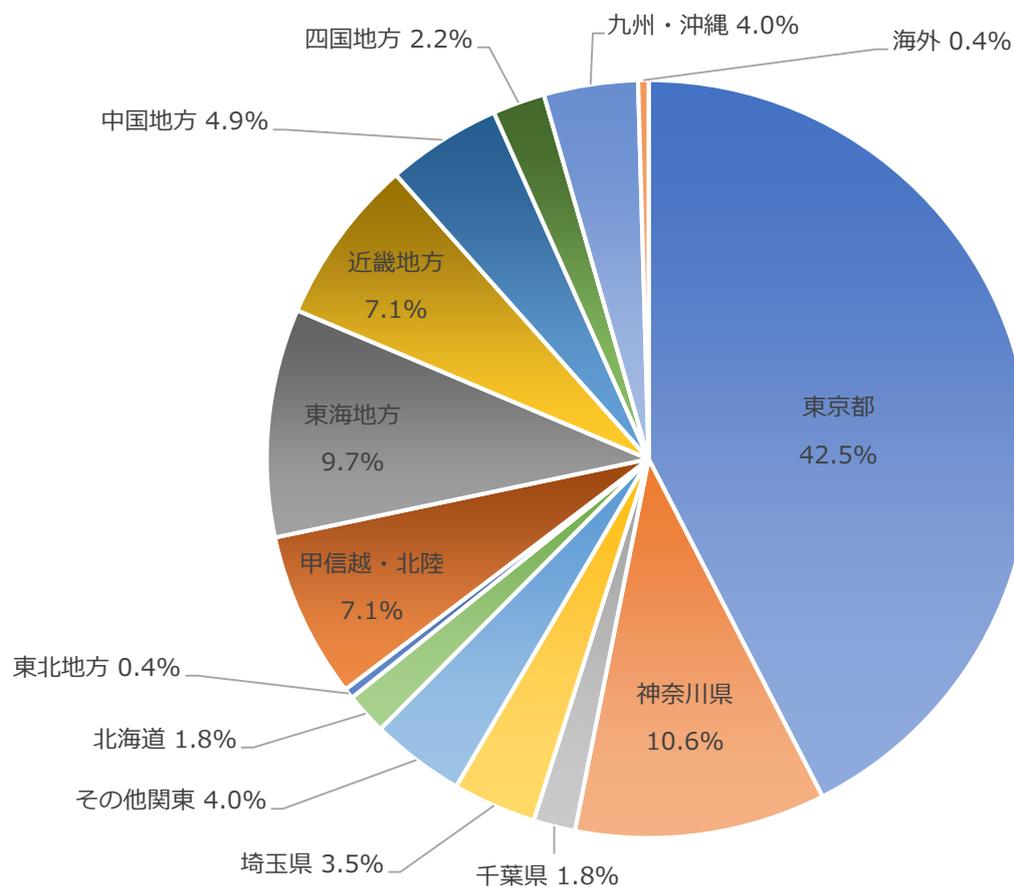
F6. あなたの年齢は。



F7. あなたの性別は。



F8. 勤務地はどこですか。



次回開催予定

会期：2021年6月3日（木）・4日（金）

会場：東京国際フォーラム

オンライン展示会：2021年6月14日（月）～7月30日（金）